

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)引当金の計上基準

・退職給付引当金

事務局職員の退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を、期末自己都合要支給額に基づいて計上している。

(2)消費税等の会計処理

消費税込額で表示している。

2.基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,577,000	450,000	0	4,027,000
社会貢献活動引当資産	6,000,000	0	0	6,000,000
支部活動充実引当資産	30,900,000	0	0	30,900,000
周年行事引当資産	12,090,000	1,200,000	0	13,290,000
小 計	52,567,000	1,650,000	0	54,217,000
合 計	57,567,000	1,650,000	0	59,217,000

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	4,027,000	(0)	(0)	(4,027,000)
社会貢献活動引当資産	6,000,000	(0)	(6,000,000)	(0)
支部活動充実引当資産	30,900,000	(0)	(30,900,000)	(0)
周年行事引当資産	13,290,000	(0)	(13,290,000)	(0)
小 計	54,217,000	(0)	(50,190,000)	(4,027,000)
合 計	59,217,000	(0)	(55,190,000)	(4,027,000)

4.引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,577,000	450,000	0	0	4,027,000

5.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
受取 県連補助金	一般社団法人 愛知県法人会 連合会	0	2,036,544	2,036,544	0	—
受取 全法連助成金	公益財団法人 全国法人会 総連合	0	28,872,200	28,872,200	0	—
受取 全法連補助金	公益財団法人 全国法人会 総連合	0	270,000	270,000	0	—
合 計		0	31,178,744	31,178,744	0	

6.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	28,622,200
事業費計上による振替額	
合 計	28,622,200

7.その他

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

基本財産及び特定資産の明細並びに引当金の明細については、上記の財務諸表に対する注記に記載をしているため、附属明細書への記載を省略する。